

船舶事故調査報告書

令和元年12月18日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	衝突
発生日時	平成31年3月15日 03時08分ごろ
発生場所	長崎県壱岐市壱岐島北方沖 若宮灯台から真方位006° 8.4海里付近 (概位 北緯34° 0.5′ 東経129° 42.3′)
事故の概要	貨物船SUN JINは、東進中、漂泊中の漁船鳳盛丸に衝突した。
事故調査の経過	平成31年4月1日、主管調査官（門司事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	A 貨物船 SUN JIN（大韓民国籍）、4,380トン 9182394（IMO番号）、SUN ACE SHIPPING CO.,LTD B 漁船 鳳盛丸、19トン NS2-15560（漁船登録番号）、個人所有 第290-45108号（船舶検査済票の番号）
乗組員等に関する情報	A 船長A（大韓民国籍）、免状不詳 航海士A（大韓民国籍）、免状不詳 B 船長B、一級小型・特殊・特定
負傷者	A なし B 軽傷 2人（船長B、乗組員）
損傷	A 右舷船首部外板に擦過傷 B 右舷船首部外板に破口
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 南南西、風力 1、視界 良好 海象：海上 波高 約1m
事故の経過	A 船は、船長A及び航海士Aほか14人が乗り組み、航海士Aが当直に当たり、壱岐島北方沖を東進していた。 航海士Aは、ログブックの整理をしていたところ、明るい光を放つ漁船と近距離ですれ違ったことに気付き、衝突しなかったか双眼鏡で確認したが、同船に異常がないように見えたので航行を続けていたところ、海上保安庁からの連絡を受けてB船に衝突したことを知った。 航海士Aは、漁船と近距離ですれ違った際、汽笛の音を聞かなかった。 B船は、船長Bほか1人が乗り組み、壱岐島北方沖で船首からパラシュートアンカーを海中に投入し、西北西に向首した状態で漂泊して操業を開始した。 B船は、船長BがB船に接近して来るA船に気付き、汽笛を吹鳴したが、A船の針路が変わらないので前進して左舵を取ったものの、A船がB船に衝突した。

<p>分析</p>	<p>A船は、東進中、当直中の航海士Aが、ログブックの整理を行いながら航行したことから、前路で漂流中のB船に気付くのが遅れ、B船に衝突したものと考えられる。</p> <p>B船は、漂流中、船長Bが、接近するA船に気付き汽笛を吹鳴し、前進して左舵を取ったものの、A船がB船に衝突したものと考えられる。</p>
<p>原因</p>	<p>本事故は、夜間、A船が、東進中、当直中の航海士Aが、ログブックの整理を行いながら航行したため、前路で漂流中のB船に気付くのが遅れ、B船に衝突したものと考えられる。</p>
<p>再発防止策</p>	<p>今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・航行中は、周囲の他船を見落とさないよう他の作業を極力控え、常時、周囲の適切な見張りを行うこと。